神戸YMCA

YMCA News

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.676 2021

3

2021年3月1日発行
1947年10月27日
第３種郵便物認可
発行所／日本ＹＭＣＡ同盟
東京都新宿区本塩町 2-11
ＴＨＥ ＹＭＣＡ神戸版
神戸ＹＭＣＡ
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人／井上 真二
編集人／間　勝也
印刷／㈲わかばやし印刷

年間聖句 「命の泉はあなたにあり
あなたの光に、わたしたちは光を見る。」（詩編36編10節）

こくさいのまど

2020年度はパートナーYMCAと直接交流を持つことができませんでしたが、＃はなれていても、つながっていることを覚えパートナーYMCAからメッセージをいただきました。

アメリカ：シアトルYMCA

The YMCA of Greater Seattle enters the new year with big work to do - addressing the Corona virus pandemic, tackling racism, advancing equity and justice, and supporting our community when so many are in crisis. Our Y staff is focused on whole person health - physical wellness and mental health supports alongside addressing loneliness, isolation, and inactivity. Children, families, and older adults will especially need our Y's assistance as we recover and begin to rebuild.

We look forward to 2021 with hope and optimism for our community and our world. People are looking to our Y as a place to heal, grow, and thrive. We have received financial and volunteer support for our work and are trusted partners to solve our community's greatest challenges.

We are proud of our ongoing partnership with the Kobe YMCA, which started in 1966. After 55 years, our collaboration is stronger than ever. We wish only the best for our friends in Kobe as you face the challenges of this global pandemic. Our YMCAs will stay connected virtually for now and look forward to being with each other through staff and youth exchanges in future years!

In friendship and community,
Loria Yeadon
CEO
YMCA of Greater Seattle

新型コロナウイルスパンデミックにより、人種差別への取り組み、公平性と正義の推進、そして多くの人々が危機的状況にある中での地域支援など、シアトルYMCAは大きな仕事を抱えて新年を迎えています。YMCAのスタッフは、孤独、孤立、運動不足に対処するとともに、身体的な健康と精神的な健康をサポートすることで、全人的健康に焦点を当てています。回復、再建に向けて、子どもたちや家族、高齢者は特にYMCAの支援を必要としています。

2021年が私たちのコミュニティと世界にとって希望を持って前向きになれる年になることを望みます。人々はYMCAが癒しと成長と生きがいの場であることを期待しています。YMCAはコミュニティにおける大きな課題を解決するために、人々に信頼されるパートナーとして 活動への財政的支援、ボランティア支援を受けています。

1966年から始まった神戸YMCAとの継続的なパートナーシップを誇りに思います。55年の時を経て、私たちの協力関係はこれまで以上に強固なものとなっています。この世界的な大流行に直面している神戸YMCAの皆様のご健勝をお祈りしております。当面はバーチャルなつながりを保ちながら、将来的にはスタッフや青少年の交流を通じた交流ができることを楽しみにしています。

シアトルYMCA
CEO ロリアン イェードン

タイ：チェンマイYMCA

Greetings from Chiang Mai, Thailand!

In warm appreciation of our cooperation during the past years, we would like to extend our very best wishes to our friends in Japan. In one way or another, the COVID-19 pandemic has changed all our lives. May the joy and peace surround all staff and members of Kobe YMCA with love and happiness last forever.

Please stay healthy and stay safe.

タイ・チェンマイからご挨拶申し上げます！

長年にわたるご協力に感謝して、日本の皆様に心からのお礼を申し上げます。COVID-19のパンデミックは、私たちの生活を大きく変えてしまいました。神戸ＹＭＣＡの職員、会員の皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。

どうか、健康で安全な生活をお過ごしください。

台湾：高雄YMCA

日本神戸YMCA同工們平安！感謝我們健康・平和地度過這一年，衷心期盼在主耶穌的看守下，困境能盡快解決，讓我們恢復和平日常。引用聖經祝福：以賽亞書 41:10「你不要害怕，因為我與你同在；不要驚惶，因為我是你的神。我必堅固你，我必幫助你，我必用我公義的右手扶持你。」期待很快再見面！

神戸YMCAのみなさん、お元気ですか！過ぐる1年、健康で平和のうちに過ごすことができ感謝しています。あらゆる困難を乗り越え、難題を解決できるように、主のご加護があるよう心から祈っております。「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け、わたしの救いの右の手であなたを支える。」（イザヤ書41章10節）

また会える日を楽しみにしています！

韓国：水原（スウォン）YMCA

This harsh winter seems to be drawing to an end.

I hope that the COVID19 will also come to an end just as this bitter cold did.

Let us hope that the year 2021 will bloom with warmth and life just like the new season of spring.

この厳しい冬が終わりを迎えようとしています。

COVID-19もこの厳しい寒さと同じように終わりを迎えてほしいと思います。

2021年が、春の新しい季節のように、暖かさと生命の花を咲かせてくれることを願っています。

韓国：大田（テジョン）YMCA

안녕하세요. 잘지내시는지요.
2020년코로나19로운영이어려웠지만이사회, 사무국, 회원님들의깊은관심과격려로유아, 어린이, 청소년들과함께사업을회복하고정상적인운영을할수있도록최선을다하였습니다.
돌아보니모든것이하나님의은혜이었습니다.
코로나１９가많은변화를가져왔지만,
이로인해어려운이웃을더돌아보고소외된이웃의인권을지키고생명과평화의가치가존중받는지속가능한사회를만들기위해대전YMCA는노력하고있습니다.
지난추억이그립습니다.
청소년들의국제리더십을키우기위해 1993년나가사키, 후쿠오카등일본YMCA와함께국제교류캠프를시작하여, 1994년일본국제후레아이회, 일본고베ＹMCA와자매결연도맺어교류활동을했었지요.
코로나19가빨리종식되어고베Y를방문할날을기대해봅니다.
항상건강하시고평안하세요.
대전YMCA 김종남사무총장드림

こんにちは。お元気ですか。

2020年は、COVID-19で大変運営が難しい状況でしたが、理事会、事務局、会員の方々の深い関心と激励のおかげで、幼児や子供、若者たちと共に事業を再生し、正常な運営ができるように最善を尽くすことができました。振り返ってみると、すべてが神様の恵みでした。

COVID-19は大きい変化をもたらしました。それによって、より困っている人を助け、疎外された人の人権を守りながら、生命と平和の価値が尊重される持続可能な社会を作るために大田YMCAは努力しています。

これまでの思い出が懐かしく感じます。

青少年の国際リーダーシップを育てるため、1993年に長崎、福岡などの日本YMCAと国際交流キャンプを始め、1994年には日本国際ふれあい会、神戸YMCAと姉妹提携も結び、交流活動をしたのを思い出します。

COVID-19が早く終息し、神戸YMCAに訪問できる日を楽しみにしています。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

大田YMCAキム・ジョンナム事務総長より

中国・天津YMCA

没有一个冬天不能逾越,没有一个春天不会来临。愿与神户青年会同仁携手同行,协作互助,共克时艰,期待与您们再次相见。

終わらない冬はない、来ない春もない。神戸YMCAのみなさんと協力し合って、この苦しい時を共に乗り越えましょう。

またお会いすることを楽しみにしています。

灯　台

総主事　井上真二

NO.30

「東京オリンピック・パラリンピック」

東京都は2016年の開催地として立候補しリオデジャネイロに敗れましたが、再びチャレンジし獲得した2020年東京オリンピック。1964年の東京大会から半世紀以上を経て、二度目の東京という事もあり世界的な関心事となりましたが、エンブレムや新国立競技場の総工費の問題、マラソン開催地の変更等、厳しい船出となりました。更にコロナウイルス問題で経済のみならず、社会のありとあらゆるものが停滞を余儀なくされる中で、一年延期という苦渋の決断をした本大会が、未だに収束の見えない中、開催そのものの是非が問われて今日を迎えています。また本大会は復興五輪として復興に力を尽くしている人々に元気や力を届け、世界中から寄せられた支援や励ましに対する感謝の気持ち、復興を成し遂げつつある姿を発信するため、聖火リレーは被災地となった福島県Ｊヴィレッジがスタート地点となります。東京2020聖火リレーのコンセプトは「Hope Lights Our Way／希望の道を、つなごう。」です。リオデジャネイロオリンピックから引き継いだ平和、団結、友愛の意味をもつ火が紆余曲折をへて、新国立競技場の聖火台に灯される時はくるのでしょうか。

連載 YMCAキャンプ100年 Founding Fathers of the Camp

1920年、六甲山の山麓で始まったとされるYMCAキャンプは100周年です。

＜#06「私たちはどこから来て、どこへ行くのか？（地球編）」＞

キャンピングサービスセンター　阪田晃一

これまで5回に渡りキャンプの歴史を紐解いてきました。一部で好評との噂も聞きつけ、引き続き連載は続けたいと思いますが、次回からは少し未来の話をしていきますので、ここで一度補助線を引いておきたいと思います。

私たちが暮らす地球が誕生したのは45億年前で、生物学的現象が始まったのは38億年前と言われています。ヒトとチンパンジーが違う道を歩き出したのは600万年前です。30万年前に火が日常的に使われるようになり、20万年前に解剖学的に私たちと同じ骨格をした「ホモ・サピエンス」が東アフリカで進化を始めました。そして7万年前に言語を獲得し、4.5万年前にオーストラリア大陸へ（同時にその土地の大型動物相が絶滅）、３万年前にはネアンデルタール人が絶滅、1.6万年前にアメリカ大陸に住みつき（同時にその土地の大型動物相が絶滅）、1.3万年前にホモ・フローレシエンシスが絶滅し、唯一の人類種となったのです。私たちは進化と絶滅の積み重なりの上に、今を生きています。

1.2万年前には農業革命が起こりヒトは定住を始めます。5000年前に最初の王国、書記体型、貨幣、多神教が生まれ、2000年前に中国、ローマ帝国、キリスト教、1400年前にイスラム教が興り、500年前に科学革命、資本主義、ヨーロッパ人によるアメリカ大陸と各海洋の征服が始まり「地球全体が単一の歴史的領域」となったと言われています（ユヴァル・ノア・ハラリ,2016）。ここまでくるとやっと、私たちが知っている（と思っている）＜世界＞の話に聞こえます。

地球の歴史を今流行りの言葉を使って、総合的俯瞰的に見てみると、私たちが当たり前だと思っている今の生活スタイルをヒトが身につけたのは、少なくてもここ数百年のことなのだとわかります。

私たちが先祖から代々遺伝的に継承してきたDNAの中にこの歴史が刻まれているとすると、言語に依存した大規模定住社会を生きている私たちの細胞は、とても窮屈な思いをしているのかもしれません。なぜなら私たちは長い間ずっと、言語に依存せず（ヒトが言葉を使い始めたは7万年前）、歌を歌い、詩的な言葉を使って、狩猟採取を行いながら、小規模の仲間と一緒に、移動しながら生きていたのです。

さて、アメリカ大陸のキャンプ場には、部族の名前を冠したキャンプ場やキャビン、ビレッジ（キャンプ場の中の“村”という単位）が多数存在します。フロストバレーの前身キャンプは、Camp Wayayandaと呼ばれていました。実は今この時も、世界中にはたくさんの、ヒトがずっと長い間親しんできた空間と時間を生きているホモ・サピエンスが存在しているのです。

「世界はそもそもどうなっているのか？」この視座に立つことは、現代を生きる（生きていると思っている）私たちには、この上なく大切なことのように思えます。社会を考えるにせよ、子育てを考えるにせよ、「生きる」を考えるにせよ、私たちはどこから来てどこへ行くのか？

ダンバー数によればゲノム的に人間が仲間と思える人数は150名ほどで、ジャン・ジャック・ルソーによれば民主制が機能する（人の痛みがわかる能力＝ピティエを有することが民主制の前提条件）ためには適正人数での生活（＝2万人程度）が必要です。それを遥かに超える人数で、一緒の世界を生きている（ともしかしたら錯覚している）私たちは果たして「まとも」なのでしょうか？

今でも、多い時にはスタッフ、リーダー、キャンパーが合わせて150名くらい集まってキャンプをします。その150名それぞれに150名の仲間がいるとすると全部で22500人です。もしそんな社会に生きていたら、政治家が決めた政策によって露頭に迷うかもしれない人たちがいることに、孤独死してしまうかもしれない人が隣に住んでいるかもしれないことに、自信が持てない若者たちや体験が不足している子供たちに、思いが至り行動することでしょう。時には残酷（それは「私たちからの視座から見たら」に過ぎないことは明白だが）に思える部族の生活も、地球的（＝多視座的、多自然的）な視座に立てば腑に落ちる。例えば私たちの体には、もともと体外にあったウイルスが共生の道を選び、存在している事実を知ると、新型コロナウイルスの流行にもまた違った視座が生まれてくるのです。

45億年前に地球が生まれて、50億年後に太陽が死ぬと言われている現在、私たちはある「文明」の中に生きています。このささやかな人生を生きる私たちはどこから来てどこへ行くのか。次回の連載からは、これまでと少し違う視座でキャンプの未来について思いを馳せることができればと思っています。

神戸学園都市YMCAこども園

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、これまでに経験をしたことのない保育となりました。4月に緊急事態宣言が発令され、特別保育が開始されたために、子どもたち皆が揃っての保育は6月からのスタートとなりました。それでもご家庭のご理解や励ましの言葉をいただいたことにより、職員の日々の働きが強められ、まもなく年度の終わりを迎えようとしています。多くの制限がある中で、様々な工夫をし、子どもたちの成長を願いながらの歩みでした。そして互いに支え合うということを本当の意味で体験することができた1年でもありました。どのような状況にあっても、神様に守られていることを感じつつ、子ども、家庭、地域のための働きを続けていきたいと思います。

地区体育館だより

西体育館では、新型コロナウイルス感染症対策（距離の確保、利用者リスト提出など）を実施して体育館を運営しています。

西体育館には、館内に喫茶店「撫子」（なでしこ）があります。スポーツ後の憩いの場としても人気です。現在は、隣の席と間隔を取るなど感染症拡大防止対策を徹底のうえ、営業しています。店主の神尾純治さん・美鈴さんは、「運動で疲れた後に、ちょっと一服しませんか？軽食も取り揃えておりますので、ちょっと小腹が減ったときにも、ぜひご利用ください。」とおっしゃっています。

これからも地域と共に進む体育館運営を行っていきます。

神戸YMCA須磨センター学童保育クラブ

長期休暇中や土曜日の昼食には、ご家族で準備していただくお弁当の他に「買い弁（かいべん）」という手段があります。500円と買い物袋を持って、リーダーと近くのスーパーや惣菜店に買いに行くことを「買い弁」と呼んでいます。

初めて「買い弁」に行く子どもは「好きな物を食べられる！」と意気込み、500円ぎりぎりまで買って大喜びです。でも、食べ切れなくなることがあります。「お腹と相談して買おうね！」と次回への課題が与えられます。

買い弁に慣れてくると、残りのお金で買える惣菜を探したり、白ご飯にハヤシライスをかけたり、たくさん種類のある冷凍スパゲティを日替わりで楽しんだり、バリエーション豊富になっていきます。

お店の方もよく理解頂いており、「500円超えそうだけど、大丈夫？」「これでお腹いっぱいになる？もう1つ選んだら？」とアドバイスをくださることもあります。買い弁は地域の方の温かい協力があってこそ出来ることです。

買い弁には食育だけに留まらず、お金の使い方、自分で選択に責任を持つこと、買い物のマナー等々、たくさんの学びがあります。

学童で過ごす全ての時間が子どもたちの良い経験になるように願っています。

神戸YMCAベルクワイアー

「40周年記念演奏 配信中！」

1980年に発足した「神戸YMCAベルクワイアー」は、2020年に40周年となりました。常に成長を続け、これまで到達したことのない高みに達していると思われます。自分たちを誇るのではなく、様々な人々の心の慰めや、心の豊かさ、心の深いところで得られる喜びや楽しみといったことを追い求めてきたからでしょう。40周年記念コンサートの開催は断念しましたが、website 上に記念演奏を配信し、より多くの方々に聴いていただけるよう企画しました。第一回、第二回、第三回と三回に分けて発信しました。

https://nozandringers.com/でご覧頂けます。

すでに聴いてくださった方々からは、「もう一度生き直してみようと思う」や、「知らないうちに涙が流れていました」などといった感想が寄せられ、活動を続けてきたことを神様に感謝しています。

この状況のもとで苦しい思いをしておられる方々が、少しでも、また、ほんのひと時であっても、心を和ませるような時を過ごしていただけると嬉しいです。

この演奏配信の企画を、ぜひご家族や多くのご友人たちにお知らせください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

神戸ユネスコ協会とさんだワイズメンズクラブからの生活支援物資

留学生への生活支援、ありがとうございます！

神戸ユネスコ協会とさんだワイズメンズクラブの方々より、お米やカップラーメン、食器な どの生活用品をいただきました。先日、学生に配布をして、「お米は助かります！」「洗剤欲しかった～」との声がありました。

Amazon Future Engineer 2020

11月28日（土）から12月27日（日）の土日開催で、三宮会館に於いて中学生7名が参加して行われました。

このプログラムは、Amazonがグローバルに地域貢献プログラムとして行っており、日本では、YMCAそしてLIFE is Tech社が協力することになりました。

神戸YMCAでは、中学・高校生を対象に「誰もがテクノロジーで世界を変えられる」というプログラミング体験を、ICT によるものづくりを通じて、一人ひとりが自分の可能性を広げる機会にしてもらいたいと考えて行いました。

内容は、LIFE is Tech社の教材でWebサイト作成の基本を2日間で学び、その後の2日間で興味あることについてオリジナルサイトを作成しました。

教材用の同じ素材から、各自の感性の違いで、こんなにも違うオリジナルサイトができるのかと驚かされました。新しい世界への扉を開くきっかけになったとすれば嬉しい限りです。

専門学校ホテル学科「卒業制作模擬挙式」

12月11日（金）、ホテル学科2年生による卒業制作「模擬挙式」が無事に執り行われました。新郎新婦は、昨年ご結婚された神戸YMCAキャンピングサービスセンター職員の藤井信人さんと佐々木麻衣さんが務めてくださいました。今年度はお二人の望みを学生達が形にしていく、“リアル結婚式”となりました。会場は日本キリスト教団神戸栄光教会様に全面的にご協力頂きました。

新型コロナウイルスの影響で、予定していた内容を実施出来ないことが続き、限られた環境の中でどういったおもてなしが出来るのかを考える日々でした。迎えた当日の学生達からは、「絶対に成功させる！」その思いが一人一人の行動に現れており、楽しみながらも凛々しい姿が印象的でした。この日の経験が将来活かされることを願っています。

今回の模擬挙式実施にあたりご協力頂きました全ての皆さまに、心より御礼申し上げます。

Amazon「みんなで応援」プログラムご支援のお願いと報告

ＹＭＣＡをはじめ国内約150の団体が、Amazonのサイト上に支援を要する「ほしい物リスト」を公開し、趣旨に賛同した方にご購入いただくと支援先に届けられるという新しい新しい支援の方法の1つで、昨年の11月よりスタートしました。

神戸ＹＭＣＡでは、地域にある児童館や拠点で学童保育などの子どものプログラムを展開しています。コロナ禍の中、安心・安全に過ごせる場所を提供しています。子どもたちが、より楽しく過ごせるよう様々な玩具をそろえたいと願っています。

また、神戸ＹＭＣＡ学院専門学校では、多くの外国人留学生が日本語を学んでいます。コロナ禍の中、多くの制約を受け、生活をしていますが、日本に来てよかったと思ってもらえるよう生活環境の充実をサポートしていきたいと考えています。

そして、このプログラムにご賛同いただいた方からの温かい贈り物が、続々と届いています。子どもたちにはコロナ禍の中でも距離をとり、楽しく過ごすことができる玩具が届けられ、外国人留学生には、寒い日本の冬を暖かく過ごせるようにと電気ファンヒーターが年末に多く届けられました。

脳ブロック「テトロミノ」で遊ぶ子どもたち

皆さまの暖かい心に感謝申し上げます。

【ご寄付の方法】
①右のQRコードより「神戸ＹＭＣＡのほしいものリスト」にアクセスしていただくと、Amazonのサイトに移ります。
②贈りたい商品を選んでカートに入れてください。
③支援先の住所を選択して、商品をご購入ください。
④神戸ＹＭＣＡに商品が送られます。

皆さまのご協力、ご支援をお願い申し上げます。
【お問合せ先】
神戸ＹＭＣＡ本部事務局　tel.078-241-7201

神戸ＹＭＣＡの
ほしいものリストは
こちら ▶▶▶

神戸YMCAポジティブネット募金報告（2021/2/15現在）

神戸YMCAは新型コロナウイルス感染症対策をしながらも、私だけではない、今困っている誰かのために募金活動を行っています。目標額を1,500万円に定め、2021年3月31日まで継続します。特に、未来をつくる子どもとユースのために、引き続き皆様のご支援をお願いいたします

2021年2月15日現在の募金・寄附状況は以下の通りです。
ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

個人・企業等（125 件）	2,668,282円
ワイズメンズクラブ六甲部（8クラブ）	4,000,000円
支援金・助成金等	5,564,735円
合　計	**12,233,017円**

感謝・寄附

（敬称略、順不同）（前号掲載以降～1/31現在）

寄附・献金

片岡 尹子、岩沖 富子、香山 智佳子、印藤 加奈子、日本キリスト教団神戸教会
学園都市YMCAキリスト教集会（丹羽牧師）、神戸学園都市ワイズメンズクラブ
神戸西ワイズメンズクラブ、さんだワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ

ポジティブネット募金

大野 勉、林 久味、熊谷 郁子、山口 徹、山根 泉、松森 正樹、三上 展、うどん なせ

学生生活支援募金　杉原 賢治、山口 徹

国際協力募金

廣瀬 献児、品田 大介、中尾 秀一、小川 光夫、上杉 直子、岡村 浩治、
ラーメン工房あ 宝塚店、学校法人頌栄保育学院頌栄幼稚園、
聖ミカエル幼保連携型認定こども園、社会福祉法人イエス団友愛幼児園、
社会福祉法人頌栄会認定こども園頌栄保育園、
社会福祉法人頌栄会西鈴蘭台頌栄保育園、幼保連携型認定こども園あゆみ幼児園、
幼保連携型認定こども園松蔭おかもと保育園、神戸ワイズメンズクラブメネット会、
西宮YMCA保育園、西宮つとがわYMCA保育園

この他にも、多数の募金・寄附をただいております。感謝をもってご報告します。